

日本機械学会関東支部埼玉ブロック主催

国立研究開発法人理化学研究所 和光研究所見学会 実施報告

2015年1月22日(金) 13:30~17:00

1. 会場 国立研究開発法人理化学研究所 和光キャンパス
(埼玉県和光市広沢 2-1)

2. 概要

国立研究開発法人理化学研究所(理研)は日本で唯一の自然科学の総合研究所として、物理学、工学、化学、計算科学、生物学、医科学などに及ぶ広い分野で研究を進めている。今回、埼玉ブロックでは、理研見学会として仁科加速器研究センター、主任研究員研究室(前田バイオ工学研究室、戒崎計算宇宙物理研究室)、情報基盤センターの見学を企画し、工学分野だけでなく幅広い分野の研究をご見学いただいた。

3. 参加者数 26名

4. 実施内容

二つの見学コースを設定した。冒頭で理化学研究所の概要説明を受けた後、和光キャンパス内を徒歩で移動しながら参加者が希望するいずれかの見学コースを見学した。

昨年度の複数の参加者から要望のあった仁科加速器センターを見学コースの中に取り入れた。ギャラリー(写真1)でRIビームファクトリー棟の全体像についての説明を受けた後、超電導リングサイクロトロン(写真2)に移動して、実物を見ながら説明を受けた。核図表模型の山谷(写真3)は何を意味しているのか、原子核の進路をどのようにして曲げるのか、サイクロトロンの稼働率、震災の被害に関する質問など、担当者がタイムオーバーを気遣わなければならぬほど、活発に質問が飛び交った。

情報基盤センターでは、4Dシアターで姫野龍太郎センター長の魔球研究に関する講演を聴講した。ここでも、投球のエネルギー効率算出根拠や、シミュレーションの計算時間など、機械学会員らしい専門的な質問が活発に飛び交った。その後、マシンルームへ移動してスーパーコンピュータ・システム HOKUSAI(写真4)を見学した。



写真1



写真2



写真3



写真4

5. スケジュール

- 13:30 展示事務棟1F AVホール集合
- 13:30～14:00 理研概要説明
- 14:15～14:55 班別研究室等見学
- 【A班】仁科加速器研究センター
RIビームファクトリー棟、超電導リングサイクロトロン等見学
山口 由高 研究員
実験装置開発室 短寿命核質量測定装置開発チーム
- 【B班】前田バイオ工学研究室
金山 直樹 研究員
- 15:10～15:50 班別研究室等見学
- 【A班】戎崎計算宇宙物理研究室
川崎 賀也 研究員
- 【B班】仁科加速器研究センター
RIビームファクトリー棟、超電導リングサイクロトロン等見学
吉田 光一 チームリーダー
実験装置運転・維持管理室 RIビーム分離生成装置チーム
- 16:05～16:45 情報基盤センター
姫野 龍太郎 センター長
- 16:50 展示事務棟1F AVホール集合、解散

所感 昨年度は講演聴講の時間を多めに取っていたが、今年度は仁科加速器研究センターをはじめ施設見学時間を増加した。参加者からの評判も良く、来年度以降も継続して施設見学の配分を多めに設定したスケジュールによる見学を継続していきたい。

(報告書作成 三好 洋美)